裁判員経験者の意見交換会開催概要（山口地方裁判所　令和5年11月27日（月）実施）

裁判員経験者にお越しいただき、裁判官、検察官、弁護士も交えて、裁判員裁判に参加した感想、審理・評議の分かりやすさ、これから裁判員になる方へのメッセージを伺いました。

裁判員裁判に参加した感想

・裁判のニュースを、参加前は何気なく見ていたが、裁判の流れを理解したことで、ニュースの見方が変わった。
・参加前は不安だったが、裁判官から十分な説明がされ、裁判員の個人情報への配慮もされていたので、安心して参加できた。

裁判員の選任手続きについて

・選任手続期日の通知は早い段階で届いたので、仕事のスケジュール調整や育児や介護が必要な家族の調整ができた。
・選任手続きから第１回期日までの期間が１か月以上あれば、より職場に負担をかけずに参加できたと思う。

証拠調べ（証拠書類・証人尋問）について

・精神科医の専門用語が難しかった。
・証拠調べは長く感じたが、判断するためにはこれだけたくさんの証拠が必要なのだと感じた。
・証人尋問の内容は書面化されていないので、メモを取るのが大変だった。

検察官や弁護人の主張（冒頭陳述・論告・弁論）について

・登場人物が多い事件を担当したので、頭の整理が大変だった。
・資料は丁寧にまとめられており、分かりやすかった。

「評議」について

・裁判員が意見を言いやすいように配慮されていたので、忌憚のない意見を言えた。
・刑の重さについては、過去の似たような事件と比較できたので、判断しやすかった。
・他の裁判員が自分では気づかない視点を持っており、参考になった。

これから裁判員になる方へのメッセージ

・緊張したし、素人が人を裁いてよいのかとの葛藤もあったが、サポート体制は整っているので、経験としてやってみて欲しい。
・職場や家族など周囲に協力してもらって気を遣う面もあるが、経験する価値はあると思う。

司会裁判官から

経験者の皆様には、お忙しい中お越しいただき、率直な御意見・御感想や将来裁判員になる方へのメッセージをいただきまして、ありがとうございました。制度的に難しい部分もあるかと思いますが、今回いただきました御意見を今後の裁判員裁判の運営に活用させていただきます。